

素晴らしいクライアント様との出会い

《夢に挑戦した人》

私は、S M Iの仕事を始め、36年になります。その間本場に沢山の素晴らしいクライアント様との出会いがありました。その中のお一人をご紹介します。と思います。

皆さんは、「パンチパーマ」をご存知でしょうか？多分殆どの方が名称ぐらいは知っている、又は見たことがあると仰るのでは？いやいや、昔パンチパーマをしていたよと言う方もいらっしゃるかもしれません。残念ながら今の私の頭では到底できませんが…(笑)その「パンチパーマ」の生みの親つまり考案者は、ヘアサロン永沼の永沼重己先生です。



ヘアサロン永沼
永沼 重己氏

永沼先生は、19歳で理容師として

弟子入りし負けず嫌いもあって昼夜問わず練習・練習と修業を積み重ね、コンクール出場に明け暮れる日々だったそうです。26歳で独立し「ヘアサロン永沼」を北九州市小倉北区に構えました。

「パンチパーマ」が生まれたのは、従来のヘアアイロンはパーマのかかりが弱かったため、ヘアアイロンを永沼先生自ら削りながら改良に改良を重ね強めのパーマがかけられるようになり、黒人の髪形をヒントに編み出したのが「パンチパーマ」だったので。この画期的な髪形は瞬く間に噂が広がり、あっと驚くほどの勢いで全国に広がりました。



パンチパーマ



パンチパーマ用ヘアアイロン

全国に広がった要因の一つは、当時の古い慣習の理美容業界ならではの

先生や先輩の技術を見て盗みながら身につけていくといったやり方ではなく、全国から「パンチパーマ」の講習を求められれば積極的に全国を走り回り講習会を行ったからなのです。

私が初めて永沼先生にお会いしたのは、ある方からのご紹介でした。S M Iビジネスを始めて間もない未熟な営業トークだった私は熱い思いだけで「潜在能力開発に役に立つアイデアです」とアポイントの電話をしたのです。お会いした時、永沼先生が「潜在」を「洗剤」と思われ、「どんな凄い洗剤？」と勘違いからのスタートでした。(笑)永沼先生は、自分自身が若いころからいつかは独立して自分の店を持つと言いつかは独立してイメージを毎日毎日描いてコツコツと日々努力して独立された背景からS M Iの「心に描いた夢は必ず実現する」という考え方に共鳴され、即採用されました。とかく理美容業界は、技術向上だけで自己満足している人が多い、物事を成し遂げるための心構えを身につけ自己成長するための勉強をすることが大切だと、お店のスタッフや多くの方にS M Iをご紹介いただき、

理美容業界にもS M Iが広がるきっかけとなりました。

フォロワーアップで、時々閉店後のお店に伺うと「パンチパーマ」の商品開発に熱心に取り組んでおられ、「上射場さん、今度のこの商品は…」と、青年のように目を輝かせ熱く語っている姿を忘れることはできません。その後、一緒に食事をしに小倉の繁華街に行くと先生は有名で色々な方から挨拶され、小倉の繁華街を仕切っている強面の方々も永沼先生には「いつもありがとうございます」と深々と頭を下げる姿に「パンチパーマ」は多くの方に愛されているのだと感じました。

永沼先生は、5年前75歳でお亡くなりになりました。でも亡くなる二日前まで元気にお店に立ちお客様の頭を整髪し、正しく生涯現役を貫き通したのです。永沼先生からS M Iを高く評価して頂いたことは自分の仕事への誇りと自信に繋がりました。

これからも永沼先生のような素晴らしいクライアント様との出会いを求めてS M Iを多くの方に広め、良い関係を築きしていきたいと思っております。